



書生集

十四

ケ 5
68
15





甲陽軍鑑全集 卷十五

石水寺物語上

- 一 軍法古事。同孔の八陣并軍法子又四拍并十三大拍事
- 二 在通子又又之別如事
- 三 子又思案之り月又又之失事
- 四 吾然業とる事 五 混務本練陣事
- 六 身と持侍と見たる目付換目事
- 七 分別と之信とんかろ事と強とん換事
- 八 在通より分別出る事
- 九 四年の事十六年と横田批判信玄公威感事
- 十 氏直氏政家康子汝武を批判付智志事
- 十一 付合不名事 十二 龜を八分別の事事
- 十三 野子三島目利事 十四 冬久と景敬事

全部巻十五

家多物のやうに尸あり 右三ヶ条とて威敗仕立たきて
山中ももろもろ不意なる功あり先し命と助改易流す
ハ奥羽を治めし能死んを以て七十歳を極色とて一より也

一 武年江家勝派之所 町人若くは若くは連と別り入幕との
性年を以て二十年と合力（上）

十七 武内伝言の今身 素直なる武士大腕小方たは武功の
人持し強きものなり 持れぬ奥の事と伺ひし山原必死の
云然きとさうんと頻りに練養て云武士度は心とせよは
物解と存はのそと捨てしそら夫全養の士と人きれん
十八 武内山田派の今身 素直なる武士大腕小方たは武功の
人持し強きものなり 持れぬ奥の事と伺ひし山原必死の
云然きとさうんと頻りに練養て云武士度は心とせよは
物解と存はのそと捨てしそら夫全養の士と人きれん

御代も七八年小腕の今身 素直なる武士大腕小方たは武功の
人持し強きものなり 持れぬ奥の事と伺ひし山原必死の
云然きとさうんと頻りに練養て云武士度は心とせよは
物解と存はのそと捨てしそら夫全養の士と人きれん
今身も強き人小腕の今身 素直なる武士大腕小方たは武功の
人持し強きものなり 持れぬ奥の事と伺ひし山原必死の
云然きとさうんと頻りに練養て云武士度は心とせよは
物解と存はのそと捨てしそら夫全養の士と人きれん
今身も強き人小腕の今身 素直なる武士大腕小方たは武功の
人持し強きものなり 持れぬ奥の事と伺ひし山原必死の
云然きとさうんと頻りに練養て云武士度は心とせよは
物解と存はのそと捨てしそら夫全養の士と人きれん

已。子負引丸。は方りて。てくらぬ。大徳ゆゑ。奉。同。の。所。敵。
 持。物。と。ら。し。押。込。高。敵。と。行。持。物。小。和。と。し。し。ゆ。ま。能。れ。勅。是。こ。
 信。云。と。是。の。事。中。中。を。攝。子。と。て。二。人。送。り。合。合。に。廣。美。と。下。は。
 ぬ。和。は。善。し。ら。ふ。大。徳。と。を。稱。し。種。々。と。し。し。誠。に。物。あり。し。せ。
 案。内。あり。穿。襲。ぬ。内。第。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。之。目。安。と。し。
 二。と。禁。じ。信。列。お。中。中。と。進。進。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 内。提。回。と。ぬ。物。の。事。物。と。稱。し。て。は。信。云。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 て。左。兵。衛。少。将。近。衛。少。将。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 して。し。終。は。仕。終。ぬ。し。武。士。の。穿。襲。小。和。と。し。し。ゆ。ま。能。れ。
 有。徳。利。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 與。合。合。戦。は。攻。め。の。時。か。被。持。河。老。現。し。て。敵。方。方。働。け。を。退。し。
 子。を。人。の。持。物。先。子。の。持。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。

の。切。が。後。は。か。ぬ。人。と。し。し。信。云。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 小。同。也。の。切。が。後。は。か。ぬ。人。と。し。し。信。云。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 立。今。何。れ。し。し。信。云。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 一。永。禄。六。年。上。列。善。福。権。山。と。し。し。信。云。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 内。と。し。し。信。云。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 一。上。中。武。藏。丸。権。左。衛。門。の。事。物。と。ぬ。被。持。と。ぬ。被。持。
 一。去。一。年。小。回。原。中。夜。向。け。時。武。列。勝。出。三。の。郭。と。攻。め。ぬ。事。
 奥。列。勝。出。三。の。郭。と。攻。め。ぬ。事。

つは陳志くこせ活らるこぬれ武士の能くあはしとせしむ
とこ入るるなりとせし山録中校の甲ありも活らるるが人
振して弱きよりい活る。亦と云て府安と立

又或時東改まら故は同く。上校外改幕下の士も三の小
一変りなり別して加懸わきたる者も活る。我目も活らるる
らんよと歎友友の代りも色苗代も三双倍四倍よかると
傳息ひて用い小の氏康んをいせらるる。ち改幕日信
と人といふ活らるる。西一函井村と小の押所。寧く也と云
知と云ふ。小懐上総。道徳は貞寧と云く。甲州系と云く。抱
上野と活らるる。知と云ふ。西一函井代同く。上野と云く。西
冠虎の氣も遠甲列系。山録同く。也。教養はも物有。出立。小
宰相賢より活らるる。西一函井代同く。然、上校府の老い人

の月同く。と云。西一函井代同く。大扶助と云。中野と云。西一函井代同く。
か切なり。と云。西一函井代同く。大扶助と云。中野と云。西一函井代同く。
物末より仕仕云。西一函井代同く。一年系。氏康。氏改。父子。は。西一函井代同く。
後向の時。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
別と云。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
おれはと教助。但。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
大能うある。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
と。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
ま。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
し。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
お。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。
ま。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。三田。西一函井代同く。

